

新型インフルエンザに関する対応について

1 横浜市新型インフルエンザ対策本部の設置状況

メキシコ及び米国等で発生した新型インフルエンザに関し、WHO（世界保健機関）がインフルエンザパンデミック警報フェーズを「3」から「4」に引き上げたことを受けて、平成21年4月28日（火）午前9時をもって、市長を本部長とする横浜市新型インフルエンザ対策本部を設置しました。なお、4月30日（木）には、WHOが警戒レベルをさらに引き上げ、現在は「5」となっています。

- (1) 設置日時
平成21年4月28日（火）9時00分
- (2) 設置場所
市庁舎5階 危機管理センター本部運営室内
- (3) 区対策本部の設置
同時刻をもって各区に設置

2 市対策本部会議の開催状況

(1) 第1回対策本部会議

- ア 開催日時
平成21年4月28日（火）12時00分～12時30分
- イ 出席者
市本部長、市副本部長、技監及び各部部長
- ウ 議題
 - ・ 現在までの発生状況及び本市の取組状況
 - ・ 今後の対策の基本方針について

<対策の基本方針>

- 1 あらゆる手段を用いてメキシコ等における状況、WHO、CDC（米国疾病予防管理センター）等からの情報収集に最大限努めること。
- 2 国、県と連携してあらゆる水際対策を講じること。
- 3 市民や横浜を訪れる方々に対する不安解消を図るための相談体制や予防対策の呼びかけを強化すること。
- 4 万一、国内又は市内で患者が発生した場合に備え、発熱相談センター・発熱外来の早期設置など医療機関の受入体制を十分に確保すること。

(2) 第2回対策本部会議

- ア 開催日時
平成21年5月1日（金）10時00分～10時40分
- イ 出席者
市本部長、市副本部長、技監、各部部長、青葉区本部長及び150周年・創造都市事業本部長

ウ 議題

- ・ 4月30日に市内で発生した疑い例の状況報告
- ・ 今後の取組について

3 市内で発生した新型インフルエンザ疑い例の概要

(1) 一例目（4月30日（木）の疑い例）

ア 概要

17歳 男子

4月10日（日）から4月25日（土）までカナダ、ブリティッシュコロンビア州ヴィクトリアにホームステイを兼ねた研修旅行に行っていたもの。

* 別紙1「新型インフルエンザ疑い例の発生について（5月1日記者発表資料）」を参照

イ 検査結果

国立感染症研究所において、PCR検査の結果でヒトH1（季節性インフルエンザ）感染が確認され、新型インフルエンザ感染は否定

(2) 二例目（5月3日（日）の疑い例）

ア 概要

40代 女性

東京都三鷹市に居住する女性が4月28日（火）にカリフォルニア州から帰国し、横浜市内滞在中に発症、市内の感染症指定医療機関で、インフルエンザ診断キットでA陽性を確認したもの。

* 別紙2「新型インフルエンザ疑い例の発生について（5月3日記者発表資料）」を参照

イ 検査結果

横浜衛生研究所の検査の結果で、ヒトH3（季節性インフルエンザ）感染が確認され、新型インフルエンザ感染は否定

4 これまでの主な対応状況

平成21年4月24日（金）に、WHO（世界保健機関）が、メキシコ及び米国におけるインフルエンザ様疾患の発生状況を発表したことを受けて、次に掲げる対応を実施しています。

- (1) 関係機関等からの情報収集や庁内連絡体制の強化
- (2) 発熱外来設置予定の医療機関や医師会等への情報提供（4月25日～）
- (3) 電話相談窓口の開設（4月26日～）* 発熱相談センターの設置（4月28日～）
- (4) 平成21年度第1回横浜市新型インフルエンザ対策推進会議を開催し、発生状況の共有及び今後の取り組みを確認（4月27日）
- (5) 緊急対策チーム（感染症）会議の開催（4月28日）
- (6) 感染予防策の啓発ポスターを作成し、各部・各区本部、開国博Y150 関連施設へ掲示依頼（日本語版4月28日～、5カ国語版5月1日～）
- (7) 臨時総務課長会を開催しGW期間中の連絡体制等を徹底（5月1日）
- (8) 疑い患者発生に伴い、情報収集、記者発表及び記者会見（4月30日、5月3日健康福祉部と共同）

- (9) GW期間中に、北米等の蔓延国に出かけた職員に対しては一定期間の自宅待機、マスク着用等を指示したほか、その他の地域に渡航した職員には帰国後のマスク着用を要請（5月3日）
- (10) GW期間中の海外渡航者について、健康観察を電話で実施（5月2日～）
- (11) 10日以内に発生国を経由した船舶が横浜港へ入港する場合には、横浜検疫所が港湾局等と連携して、検疫官の乗船による臨船検疫を実施中
- (12) その他各部・区本部において市民への予防策の広報
- ＊ 別紙3「新型インフルエンザに対する部・区本部の主な対応状況について」を参照

5 発熱相談センターへの相談件数及び主な相談内容

月日	日計	累計	主な相談内容
4月26日(日)	28件	28件	<ul style="list-style-type: none"> ・検査方法について ・患者の判断基準について ・連絡体制について ・帰国者の注意点 ・メキシコ産食品、加工品の安全性について ・薬品・マスクの入手方法 ・疑い患者の発生について ・検査の希望 ・国内発生時の本市の対策
4月27日(月)	14件	42件	
4月28日(火)	74件	116件	
4月29日(水)	25件	141件	
4月30日(木)	196件	337件	
5月1日(金)	365件	702件	
5月2日(土)	127件	829件	
5月3日(日)	101件	930件	
5月4日(月)	91件	1,021件	
5月5日(火)	86件	1,107件	
5月6日(水)	105件	1,212件	
合計		1,212件(5月6日 17時現在)	

6 今後の取組について

- (1) GW期間中の海外渡航者が帰国し、一定期間（潜伏期間を考慮）については、市本部体制及び各部・各区本部との連絡体制を強化します。
- (2) 引き続き、WHO（世界保健機関）、CDC（米国疾病予防管理センター）等の諸機関からの情報収集に最大限努めるとともに、厚生労働省や神奈川県との緊密な連携を図ります。
- (3) あらゆる媒体を通じて、市民をはじめ、横浜を訪れる皆様に、手洗い・うがいの励行やマスクの着用をお願い等の感染予防策のほか、発熱相談センターへの早期相談を呼びかけ、必要なアドバイスを行います。
- (4) 社会的な混乱や市民不安を招くことのないよう、適宜、正しい情報を発信し、正しい情報に基づく冷静な対応の呼びかけを強化します。
- (5) 今後の感染拡大状況を注視しつつ、万が一、市内で発生した場合には、開国博Y150をはじめ、市内で行われる各種イベントの一時休止、幼稚園、学校施設の臨時休業など、市民活動の自粛要請等について、医療専門家の意見や諸外国の対応を参考にしながら、国と連携を密にして必要な対策を協議し、決定していくこととします。

※26:00発表

記者発表資料
平成21年4月30日
健康福祉局健康安全課
担当部長 岩田 眞美
電話 671-2434
671-2463

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

新型インフルエンザ疑い例の発生について

市内において、新型インフルエンザの疑い例が発生しました。
今後、検体を国立感染症研究センターに搬送し、確定検査を行います。

(発生例)

17歳男子

カナダ旅行をしており、4月25日(土)に帰国

(経過)

4月30日(木)

- | | |
|-------|---|
| 10:00 | 発熱、咳、たん症状があり医療機関を受診
インフルエンザ診断キットA型陽性のため、区福祉保健センターに報告あり |
| 11:00 | 検体を横浜市衛生研究所に搬送し、検査を開始する |
| 24:30 | 国立感染症研究センターに連絡 |

※11:30発表

記者発表資料
平成21年5月1日
健康福祉局健康安全課
担当部長 岩田 眞美
電話 671-2434
671-2463

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

新型インフルエンザ疑い例の発生について（第2報）

昨日発表しましたとおり、市内において、新型インフルエンザの疑い例が発生しました。本日、確定検査のため、検体を国立感染症研究所に搬送しました。

（発生例）

17歳男子（高校2年生）

4/10（日）～4/25（土）までカナダに修学旅行で行っていた。

※修学旅行

行き先：カナダ ブリティッシュコロンビア州 ヴィクトリア

内容：ホームステイを兼ねた研修旅行

参加者：生徒116人（2年生のみ）、引率等7人（※予定人数）

帰国便：JL017便（4/25 13:45 成田空港着）

（経過）

4月29日（水）

発熱（39℃前半）のため医療機関を受診。

インフルエンザ診断キットはA、B型ともに陰性。

4月30日（木）

10:00 発熱（37℃後半）、咳、たん症状があり医療機関を受診。

インフルエンザ診断キットでA型陽性のため、区福祉保健センターに報告がある。

11:00 検体を横浜市衛生研究所に搬送し、検査を開始する。

福祉保健センターによる患者の聞き取り、指導を行う。

患者は自宅待機とする。

23:00 患者を市民病院に搬送する。

23:45 患者が市民病院に到着する。

5月1日（金）

00:00 すぎ

市民病院で、患者の聞き取り調査を開始する。

00:40 衛生研究所の最終報告。

2:00 患者の検体を再度採取し、国立感染症研究所に搬送。

(検査の内容)

検査内容	検査機関	判明日	検査結果
4月29日に受診した医療機関で採取した検体の診断キットによる検査	受診医療機関	4月29日	A, B型 ともに陰性
4月30日に受診した医療機関で採取した検体の診断キットによる検査	受診医療機関	4月30日	A型 陽性
4月30日に受診した医療機関で採取した検体の遺伝子検査	市衛生研究所	5月1日	解析不能

(今後の対応)

5月1日のできるだけ早い時間から、患者の聞き取り調査をもとに、接触者の調査を行っていく。



※17:30発表

照会先：結核感染症課
Tel 03-3595-2257

平成21年5月1日
厚生労働省健康局結核感染症課

本日、国立感染症研究所において2回目の検査を行い、3検体のPCR検査の結果は以下のとおり。

A型	(+)
ヒトH1	(+)
豚H1	(-)
H3	(-)

このことから、当該患者はヒトH1（季節性インフルエンザ）に感染していることが確認され、新型インフルエンザへの感染は否定されるものと考えられる。

※17:45発表

記者発表資料
平成21年5月3日
健康福祉局健康安全課
担当部長 岩田 眞美
電話 671-2434
671-2463

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

新型インフルエンザ疑い例の発生について

本日、市内において、新型インフルエンザの疑い例が発生しましたのでお知らせします。

患者に関する情報

(1) 概要

年齢：40代

性別：女

居住地：東京都三鷹市

渡航：米国 カリフォルニア州

4月28日（火）に帰国

5月3日に発熱相談センターに相談の上、横浜市内の感染症指定医療機関を受診したところ、インフルエンザ診断キットでA陽性が確認された。

※横浜市内に滞在中に発症。

(2) 患者の状況

5月3日時点：発熱、咳の症状が出ている。

(3) 検査体制

市衛生研究所において検査を行っている。

(4) 積極的疫学調査

実施中。

(厚生労働省と同時発表)

※22:00発表

記者発表資料
平成21年5月3日
健康福祉局健康安全課
担当部長 岩田 眞美
電話 671-2434
671-2463

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

新型インフルエンザ疑い例の発生について（第2報）

本日、市内において、新型インフルエンザの疑い例が発生し、市衛生研究所において検査を行っている旨発表いたしました。

衛生研究所の検査結果が出ましたのでお知らせします。

○検査結果

A型 (＋)

ヒトH1 (－)

豚H1 (－)

H3 (＋)

このことから、当該患者はヒトH3（季節性インフルエンザ）に感染していることが確認され、新型インフルエンザの感染は否定されるものと考えられる。

新型インフルエンザに対する部・区本部の主な対応状況について 5月3日現在

部・区本部	実施事項
都市経営部	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページにおいて5か国語で情報提供するとともに、5か国語で広報ポスターを作成 ・発熱相談センターにおける5か国語対応 <Y150関係> ・会場においてポスターによる広報 ・会場手洗所における消毒用アルコールの設置 ・患者発生時の対応について訓練
行政運営調整部	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員の対応について通知 (蔓延国に渡航していた職員の10日間自宅待機等)
市民活力推進部	<ul style="list-style-type: none"> ・tvk「Hi!横濱編集局」で発熱相談センターについて放送、tvkデータ放送も実施 ・インターFMで発熱相談センターについて英語放送 <H. I. S. 2009年世界卓球選手権横浜大会関係> ・メキシコ選手等の健康観察を実施 ・大会主催者に対し、選手・コーチ・役員の健康状態把握を要請 ・5月2日からサーモグラフィによるチェックを実施
こども青少年部	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクの高い乳幼児及び妊婦の安全を確保するため、乳幼児検診等を一時休止 ※GW中においては、日中は8～9人が参集
健康福祉部	<ul style="list-style-type: none"> ・市民向け相談窓口の開設 26日 電話相談窓口を開設 28日 健康安全課及び各区福祉保健センターに発熱相談センターを開設 ※GW中においては、日中は職員4名の他、通訳5名体制 ・所管施設等で広報ポスター掲示、施設内放送を実施 ・疑い例(患者)発生への対応(検査、関係機関調整、記者発表など) ・海外からの帰国者の健康観察
資源循環部	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員、家族に予防対策・健康状態把握の徹底。全収集事務所にマスク配布
経済観光部	<ul style="list-style-type: none"> ・所管施設等で広報ポスター掲示、施設内放送を実施 ※GW中においても、日中は職員が参集
港湾部	<ul style="list-style-type: none"> ・メキシコ・米国・カナダから発航又は寄港し、日本に10日以内に寄港する場合、原則として臨船検疫を実施
安全管理部	<ul style="list-style-type: none"> ・各部の関連情報リンク集を危機管理室ホームページ内に作成 ・防災情報Eメールで市民向け情報提供 ・5月3日 磯子署広報車にて市衛生研究所から国立感染症研究所への検体搬送
交通部	<ul style="list-style-type: none"> ・駅構内、地下鉄及び市バス車内アナウンスによる広報を実施 ・駅構内、主要バスターミナル及び市バス車内での広報ポスター掲示並びに地下鉄車内のテロップによる広報を実施
病院経営部	<ul style="list-style-type: none"> <市民病院> ・病院入口でのトリアージ、来院者へのマスク着用と手指消毒依頼を実施 ・新型インフルエンザ疑い患者さんの入院受入(4月30日1人、5月3日1人) <脳血管医療センター> ・来院者へのマスク着用と手指消毒依頼を実施
教育部	<ul style="list-style-type: none"> ・通知、チラシ等により、予防のため手洗い・うがいの励行等により児童・生徒の健康指導を徹底 ・フェーズ5への引き上げに伴い、4月20日以降帰国した児童・生徒等の発熱者状況調査を実施中(蔓延国から帰国した児童生徒の10日間自宅待機) ・米国等海外派遣教員の健康状況の把握
区本部	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会を通じた広報(ポスター掲出依頼、回覧板用のチラシ送付等) ・港南区・金沢区・戸塚区・栄区合同でJCN(ケーブルテレビ)による情報提供 ・エフエム戸塚「防災インフォメーション」での放送依頼 ・タウンニュースへの伝達依頼 ・家庭内等の消毒方法の広報チラシ作成 ・「センター南の春まつり」会場で広報チラシ配布 ・田園都市線各駅への広報チラシ掲示 ・来客者に対するマスク配布